

速報：SARS対処法 重症急性呼吸器症候群（SARS）

カナダの長期医療・保健省緊急健康保険サービス部門より発信された SARS 対処法の記事を一部翻訳したものです。
この中の備品と車の除菌清掃で加速化過酸化水素ベースの除菌洗剤の使用が奨められています。

トレーニング報告書 重症急性呼吸器症候群（SARS）

2003年3月27日

分類番号 103 Version 1.1

長期医療・保健省 緊急健康保険サービス部門

Emergency Health Services Branch Ministry of Health and Long-Term Care

始めに

本報告書は、重症急性呼吸器症候群（SARS）にかかる可能性のある救急医療師に対してさらなる助力となるよう、また身体を保護するために適切な予防処置をとることが救急隊員にとって大変重要なことであることを強調するため、そして SARS およびその他感染性のある病気が他の人に広がるのを防ぐために更新しました。

この報告書が発表時には、SARS の決定的原因が知られてはいませんが、国内及び国外の機関が共同してサーベイランス及び実験テストを行なっています。カナダ保健省は州又は地域ごとの SARS に対するサーベイランスと接触を当初より熱心に行なっております。

発生対策として、長期医療・保健省 (the Ministry of Health and Long-Term Care (MOHLTC)) は健康保護促進法 (Health Protection and Promotion Act (HPPA)) のもと、SARS を報告すべき病気、感染性疾患、悪性の病気と認定しました。

SARS の可能性を確認するには

この情報はカナダ保健省からの現在の情報に基づいています。

SARS の潜伏期間は現在 10 日までと考えられています。救急医療師は以下の症状が患者にみられる場合、SARS かもしれないと疑うべきです：

- a) 38 度以上の発熱がある方

そして

- b) 咳、息切れ、呼吸器困難感などの呼吸器症状を一つ以上呈している方。注記：SARS は、発熱、呼吸器症状に加え、頭痛、筋硬直、食欲不振、倦怠感、意識混濁、発疹、下痢などの症状を伴うものもある。

そして

- c) 発症前 10 日以内に、アジア地域特に SARS の発生が報告されている国へ旅行した方

又は

上記症状のある人と（発症前 10 日以内）に接触している方

又は

現在患っている病気の原因が不明な方

病気の原因に関わらず、患者のケアを行なう場合、基本一般／体液予防措置を行なうべきである。

備品と車の除菌

SARS の疑いのある患者の搬送に伴い、救急医療師は患者が使用した車、ストレッチャー、そしてすべての装置を除菌しなくてはなりません。この除菌清掃には、加速化過酸化水素ベースのフォーミュレーション (Virox-5、日本での商品名はハイプロックスアクセル。以下アクセルと言う) の使用をお奨めします。製造業者の仕様書に従って使用した場合、表面の除菌においてアクセルは 99% 以上の除菌効果があるとの研究結果となりました。この製品はそれゆえ高レベル除菌剤としての使用に適し、そして他の多くの広域スペクトラム殺菌剤よりも安全です。

アクセルは“希釈不要タイプ”と濃縮フォーミュラの両方があります。濃縮タイプの方は製造業者の指示に従って水と希釈しなくてはなりません。(1:16 に希釈する＝水 4L に対しアクセル 250ml)

アクセルを販売しているある卸売業者は、プレホスピタル環境に製品を使用するのに適した以下の情報を提供しています。

- ・少なくとも5分間表面をアクセルで濡らすと、被膜型ウイルスと増殖性バクテリア（スーパーバグを含む）を99.9%除菌します。
- ・少なくとも5分間表面をアクセルで濡らすと、すべてのウイルスと増殖性バクテリアを99.99%除菌します。
- ・アクセルはクロストリジウム・ディフィシルの胞子を表面から除去するのに大変有効ですが、アクセルを含むどんな清掃薬剤もそれを殺菌することは出来ません。環境表面の清掃には、除去・除菌が一番大切です。
- ・清掃を行なうときはグローブを身に付けることが正しい方法ですが、アクセルは皮膚や目に接触しても安全です。2重グローブは必要ありません。
- ・アクセルは手の除菌用には使用しないで下さい。
- ・アクセルは万が一口に含んでも無害及び非毒性です。
- ・アクセルはあらゆるハード表面と織物の使用に安全です。

救急車や車内備品の除菌清掃に使用した清掃備品（クロス、スポンジなど）は、バイオハザードとして取り扱わなくてはなりません。これらは、“バイオハザード物質”とマークされた適切なゴミ箱に入れて、地域のサービス制度によって、廃棄されなくてはなりません。

www.teccs-jp.com

東栄部品株式会社

[HEAD OFFICE] 3-6, 6-CHOME HONKOMAGOME, BUNKYO-KU, TOKYO JAPAN.
TEL : +81-3-3946-8111 FAX : +81-3-3946-8116

